

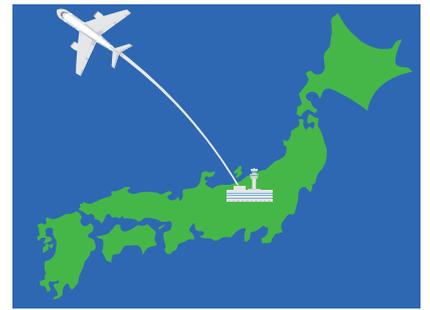


はばたけ！トキエア！！

去る1月31日、「トキエア」の新潟・札幌(丘珠)便が就航しました。トキエアは新潟を拠点とする航空会社で、今後、仙台・中部国際(セントレア)、神戸、佐渡などの路線が計画されています。

新潟～札幌間の最安チケットは6,900円ですから、かなりお安く北海道へ行けることになりました。

「新日本海フェリー」と合わせるのもオススメです。新潟港を土曜日の昼12時に出航。ゆっくりと船旅を楽しみ、小樽着が日曜日の早朝の4:30。最寄りの「小樽築港駅」から始発電車で「桑園」まで移動し、「札幌場外市場」でウニやいくら海鮮丼を楽しみ、「サッポロビール工場」で出来たてビールを飲み、ラーメンやスープカレーも食べて、16:35の飛行機に乗れば、18:20に新潟空港到着です。地元の航空会社ですので、ドンドン利用して応援していきたいですね！



「Eco列車でいこう！」～第173回～ ゆうばり日和。

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行や、心が豊かになるような旅行を照会するコーナーです！)



1月8日(月/成人の日)。宿泊地の帯広を出発し、9:42「新夕張」に到着した。言わずと知れた「石炭で栄えた街」そして「財政破綻した街」でもある。少ない時間だが、夕張を巡ってみようと思う。

駅前の「道の駅」に行ってみるが人の気配が無い。案内版に「月曜定休」と書いてある。確かに今日は月曜日だが、祝日に休む「道の駅」など聞いたことが無い。過疎地夕張の洗礼を浴びた。

10:21発のバスで街中に入る。夕張市出身で先日亡くなった「大橋純子」さんの肉声アナウンスが流れ、要領よく夕張の説明をしてくれる。「炭住」や「ボタ山」が残り、往時の生活を想像する。

「清水沢3丁目」で下車。商店が軒を連ねるが、活気はない。最盛期の人口11万人から6千人あまりにまで減っているので仕方がないだろう。雪深い土地だが、幸い今日は快晴なので、のんびりと散策できる。市営住宅の近くにコンクリートづくりの「宮前町浴場」がある。炭鉱会社が開いた浴場で、今でも週3回営業しているという。

「そば天国」という店で昼食とする。この店は2019年に廃止になった夕張支線の「南清水沢」の駅舎を再利用している。70代後半と思われる店主は、15歳の時に長岡市栃尾を離れ、現在は夕張でそば店を営業しているという。「電車とバスを乗り継いで、夕張を見に来た」と話したら、店主はすごくびっくりしていた。そして、「夕張に見るものなんてねえんだよ。」と言って笑った。

美味しいそばを食べて、再び歩き出す。この辺りでは珍しい真新しい建物が見えた。拠点複合施設「りすた」だ。市役所の支所や子育てひろば、図書館などが併設しており、子どもの笑い声が聞こえた。

3時間程の滞在だったが、夕張の遺構とわずかな光明を感じて、再び列車に乗った。



今も現役の宮前町浴場



「そば天国」の店内には「黄色いハンカチ」



「りすた」は交流の場になっている